

平成 14 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社エフアンドエム  
(コード番号 4771 NJ)  
本 社 大阪府吹田市江坂町 1-23-38  
代 表 者 名 代表取締役 森中 一郎  
問 い 合 せ 先 取締役管理本部長 杉浦 友泰  
TEL 06 - 6339 - 7177

## 平成 14 年 3 月期 第 3 四半期の連結業績等の概況

当社の平成 14 年 3 月期 第 3 四半期（平成 13 年 4 月 1 日から平成 13 年 12 月 31 日まで）における連結業績等の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本資料は、第 3 四半期における連結業績等の速報であることから、本資料に記載された財務諸表等の一部には正規の決算手続きを経ていないものが含まれており、これらに対する公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

### 記

(注) 百万円未満切捨て

平成 14 年 3 月期第 3 四半期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 12 月 31 日）の業績

#### (1) 連結業績の状況

	14 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	13 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売上高	2,827 百万円	13.5 %	2,490 百万円	3,555 百万円
営業利益	45	88.1	379	628
経常利益	18	94.9	352	614

(注) 1. 当四半期における連結子会社は 2 社、持分法適用会社は 1 社であります。

#### (2) 部門別の売上高の内訳

	14 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)		対前年同 期増減率 %	13 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
アウトソーシング業	1,603	56.7	4.2	1,673	67.2	2,412	67.9
エフアンドエムクラブ業	1,053	37.3	39.1	757	30.4	1,040	29.3
アウトプレースメント業				32	1.3	38	1.0
不動産業	109	3.9					
その他業	60	2.1	122.2	27	1.1	63	1.8
合 計	2,827	100.0	13.5	2,490	100.0	3,555	100.0

(3) 主な資産・負債の変動について

(単位：百万円)

項目	14年3月期第3四半期	増減額	前期末
(資産)			
現金及び預金	970	262	1,233
受取手形及び売掛金	605	178	427
有価証券		335	335
その他流動資産	427	292	135
その他無形固定資産	199	104	95
投資有価証券	454	73	380
差入保証金	257	102	155
繰延税金資産(固定)	127	105	21
(負債)			
短期借入金	645	329	316
未払法人税等	12	178	191
長期借入金	1,981	287	1,693

- (注) 1. 主な資産・負債の変動につきましては、当第3四半期末日(平成13年12月31日)現在において、前期末日(同年3月31日)現在と比較して、総資産額の100分の1以上変動があった科目を記載しております。
2. 資産の主な変動は、納税等による「現金及び預金」の減少、売上増加による「受取手形及び売掛金」の増加、有価証券の保有目的の変更による「有価証券」から「投資有価証券」への振替、仮払法人税等による「その他流動資産」の増加、ソフトウェア投資による「その他無形固定資産」の増加、「差入保証金」の増加、繰越欠損金に対する税効果による「繰延税金資産(固定)」の増加等の要因により、前期末比486百万円増加し、5,726百万円となりました。
3. 負債の主な変動は、「短期借入金」の増加、「未払法人税等」の支払いによる減少、「長期借入金」の増加等の要因により、前期末比642百万円増加3,345百万円となりました。

当期第3四半期業績の概況

セグメント概況と今後の見通し

(1) アウトソーシング事業

当四半期の取り組みについて

当四半期におきましては、当事業の顧客層である生命保険会社営業職員の解約が引続き発生し、13年12月末時点の会員顧客数は38,173人(13年9月末44,485人)となりました。

会員顧客数減少の要因と致しましては、景気悪化状況下において生命保険業界への影響も広がるなど、期首より引き続いて当社会員顧客の生命保険会社退職に伴う解約が、例年以上に高水準で推移していることが挙げられます。このような状況下、当事業では会員顧客が当社サービスにより満足を得ることを目指し、記帳処理の体制強化、営業支援ツール「エフアンドエムメイトパック」(注1)の開発などを進めることで、来期以降を見据えた事業展開をおこなってまいりました。その結果、当事業での第3四半期までの累計売上高は1,603百万円となりました。

今後の見通しについて

今後の当事業の見通しとしましては、景気低迷、生命保険業界の再編等が予想されることから、生命保険会社営業職員を対象にした記帳代行サービスにおいて、急速な回復を果たすことは容易ではないと思われま

このような状況下で当社は、生命保険会社営業職員を対象とした会員事業サービスの見直しを図り、記帳代行に付加するサービスメニューの拡充を目指した「エフアンドエムメイトパック」(注1)の既存会員への普及を今期末頃より本格化させるほか、新規会員獲得の戦略的商品と位置付け、生命保険会社営業職員に対して新たなニーズを喚起し、来期以降の成長に結び付ける所存であります。

・不動産所得者向け記帳代行について

アパマンショップネットワーク株式会社との業務提携による、不動産所得者向けの記帳代行の取り組みとしましては、当第3四半期では記帳処理体制の整備に努めてまいりましたが、当第4四半期より段階的に開始し、記帳代行サービスのOEM供給システムを確立してまいります。

(注1): 従来から開発リリース済の「e - s e i h o c l u b」に加え、メールマガジン発信代行、アコム株式会社との提携による「F&M mate MasterCard®」の発行、会員誌の提供等をパッケージングしたビジネスサポートツール。

(2) エフアンドエムクラブ事業

当四半期の取り組みについて

当四半期におきましては、従来の営業体制と並立し、中長期的に会員企業数を更に増加させることを目的として、サービスメニューの強化及び代理店制度の構築に注力してまいりました。

景気悪化による当社顧客層である中小企業の景況感の悪化から、当期第3四半期までの累計(13年4月1日~12月31日)の会員企業契約継続率が75.3%となり、前年同期(12年4月1日~12月31日)の79.5%と比較し4.2ポイント低下したことに加え、新サービスメニュー付加等に対する販売体制の確立が遅れたため、当第3四半期末(12月末)の会員企業数は5,754社となり、当中間期(9月末)より58社の減少となりました。

・I S O支援事業について

当第3四半期より開始したI S O認証取得支援事業につきましては、当第3四半期の営業戦略であるI S Oセミナーの開催に注力してまいりましたが、販売体制の確立には至らず、当第3四半期のI S O支援教材販売における売上高は32百万円となりました。

・イーキャリア事業について

今期より開始いたしました求人広告サイト「イーキャリア」の販売代理店事業につきましては、エフアンドエムクラブ会員企業をはじめ全国の中小企業の求人ニーズに応えるべく、販売体制の確立に努めて参りました結果、当期第3四半期の売上高は22百万円となりました。

また、事業所向けオフィス用品の通販事業「カウネット」につきましては、当期第3四半期末の登録数は、4,469事業所となっております。

以上の結果、当事業での当期第3四半期までの累計売上高は1,053百万円(I S O・イーキャリア販売含む)となりました。

今後の見通しについて

当事業の今後の見通しといたしましては、景気の更なる悪化が予想される中、中小企業の経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。しかしながら、当社が提供する総務を中心としたバックオフィスサポートサービスのニーズは、今後ますます高まるものと考えられるため、サービスメニューを随時追加することで、商品力の強化に努めてまいります。

・エフアンドエムクラブ販売代理店制度について

第3四半期中に構築した制度をもとに、当第4四半期より本格的な募集を開始いたします。

・I S O 支援事業について

I S O 支援事業では、販売体制の再構築を進めるとともに、当第4四半期より従来の「I S O 9 0 0 1」(品質マネジメントシステム規格)に加え、「I S O 1 4 0 0 1」(環境マネジメントシステム規格)を新たに投入することで、収益力の強化に努めてまいります。

・イーキャリア事業について

イーキャリア事業につきましては、当期第4四半期にかけまして、単月での黒字化が見込まれております。今後はエフアンドエムクラブ会員企業との相乗効果を高め、収益に貢献できるビジネスになるよう努めてまいります。

(3) 不動産事業について

不動産事業における売上高109百万円は、大阪本社が入居する自社所有ビルからの賃貸収入でございます。

(4) その他事業について

その他事業売上高60百万円は、子会社エフアンドエムネット株式会社でのシステム開発・システム保守収入等でございます。

(5) 関連会社の状況について

主に未上場会社のM & A アドバイザリービジネスをおこなう、株式会社中小企業M & A センター(100%出資子会社、1月決算)の今期状況は、エフアンドエムクラブ会員企業を中心としたM & A 案件情報蓄積が順調に進み、M & A アドバイザリー及び仲介契約を遂行することにより、売上高約100百万円が見込まれております。

再就職支援事業をおこなうチャレンジャー・グレイ・クリスマス株式会社(29.7%出資、3月決算)の今期状況は約400百万円が見込まれております。

(6) 売上原価及び売上総利益について

当四半期の各事業部の売上原価及び売上総利益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	アウトソーシング事業	エフアンドエムクラブ事業	不動産事業	その他事業	合計
売上高	1,603	1,053	109	60	2,827
売上原価	971	487	57	35	1,552
売上総利益	631	566	52	25	1,275

## 単体業績

(1) 平成14年3月期第3四半期(平成13年4月1日～平成13年12月31日)の業績

	14年3月期第3四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	13年3月期第3四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売上高	2,792 百万円	12.1 %	2,490 百万円	3,554 百万円
営業利益	78	80.5	400	662
経常利益	72	81.5	390	656

(2) 部門別の売上高の内訳

	14年3月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期増減率 %	13年3月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
アウトソーシング 事業	1,603	57.4	4.2	1,673	67.2	2,412	67.9
エフアンドエムクラブ 事業	1,053	37.7	39.1	757	30.4	1,040	29.3
アウトプレースメント 事業				32	1.3	38	1.0
不 動 産 業 事 業	117	4.2					
そ の 他 業 事 業	18	0.7	33.3	27	1.1	63	1.8
合 計	2,792	100.0		2,490	100.0	3,554	100.0

(3) 売上原価及び売上総利益について

当四半期の各事業部の売上原価及び売上総利益は以下のとおりです。(単位:百万円)

	アウトソーシング事業	エフアンドエムクラブ事業	不動産事業	その他事業	合計
売上高	1,603	1,053	117	18	2,792
売上原価	986	498	64	10	1,560
売上総利益	616	555	52	7	1,232

## 当期の見通し

平成14年3月期(平成13年4月1日～平成14年3月31日)業績予想につきまして、平成13年5月26日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

(1) 平成14年3月期通期業績予想の修正

連結(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,407	807	403
今回修正予想 (B)	3,698	117	127
増減額 (B - A)	709	924	530
増減率 (%)	16.1	-	-
<ご参考> 前期実績(平成13年3月期)	3,555	614	294

単独（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,257	800	400
今回修正予想 (B)	3,540	150	129
増減額 (B - A)	717	950	529
増減率 (%)	16.8	-	-
<ご参考> 前期実績（平成 13 年 3 月期）	3,554	656	308

以上